

## 小学校高学年における教科担任制の充実

中核校	鶴居村立鶴居中学校	指定校	鶴居村立鶴居小学校、鶴居村立幌呂小学校 鶴居村立下幌呂小学校、鶴居村立幌呂中学校
-----	-----------	-----	---

### 実践前の状況

- ・村内の全小・中学校間において、小小連携及び小中連携の取組が十分ではなかった。
- ・村内の小学校において、授業交換などを通じた指導体制の工夫による教員の資質能力向上に向けた取組が推進できていなかった。

### 実践の概要

村内の全小学校における高学年理科の教科担任制の実施

- ・鶴居中学校の理科担当教員が、村内全小学校における理科の専科教員として、1人1台端末を活用した授業実践を行い、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けた取組の推進を図った。
- ・村内全小学校において、中学校の理科担当教員によるICT等を活用した遠隔合同授業を行うなど、小小連携を意識した実践を行った。
- ・村内全小・中学校における学習規律を統一させた「つるいスタンダード」を作成するとともに、理科担当教員が担当していた第6学年を、次年度も中学校第1学年において担当することで、中1ギャップ等の解消につながる小・中学校の円滑な接続に向けた環境や組織体制を整備した。

小学校における教員の資質向上に向けた取組の推進

- ・中学校の理科担当教員による小学校理科の専科指導の時間を活用し、小学校高学年の学級担任が、他学年の生活科や総合的な学習の時間の指導を担当したり、小学校の学級担任間で教科指導を交換したりするなどの授業交換の取組を通して、教員の授業改善に係る資質能力の向上を図った。



【ICT等を活用した遠隔合同授業の様子】



【高学年学級担任による他学年での指導の様子】

### 実践の充実に向けた取組の工夫

#### 〔校長の取組〕

- ・「つるいスタンダード」の作成に当たっては、村内の校長会が中心となり、各学校の担当者や専科教員等を中心とする小小連携推進委員会を組織し、小小連携及び小中連携の取組を推進した。
- ・1人1台端末の活用については、ICT活用推進委員会を組織し、「端末利用に係る技能一覧」を作成したり、作成した技能一覧の活用に係る研修会を実施したりするなどの取組を推進した。

#### 〔専科教員の取組〕

- ・「つるいスタンダード」の原案を提示するとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた授業実践を行うとともに、村内の全小・中学校で実践内容を共有した。
- ・管理職と連携し、専科指導に係る時間割をクラウド上で共有するなど、ICT端末等を活用した環境の整備を行った。

### 成果（ ）と今後の課題（ ）

学校評価（児童）の「専科の先生との学習が、『おもしろい・楽しい・好きになってきている』と感じる」の項目について、高い水準を維持している（R4：3.75 R5：3.89 4点評価）。

専科教員の中学校での継続した指導や「つるいスタンダード」の作成など、専科教員等を中心とした取組を通して、小小連携及び小中連携に向けた取組を一層推進することができた。

小小連携及び小中連携、1人1台端末の効果的な活用について、村内の全教員の意識が高まるよう、管理職等を中心とした組織体制の充実を図る必要がある。